

令和7年度 事業計画

法人本部

1. 基本方針

同朋相互扶助の仏教精神に基づく愛知育児院の基本理念は創立以来変わることなく、今年で139年続くこととなります。その基本理念を「いのちの輝き」という具体的な指標として掲げ、令和7年度も現代社会に呼応した社会福祉活動を推進していきます。

歴史を誇る児童養護施設「南山寮」と地域小規模児童養護施設の「みなみ」、「やまなみ」、静かな環境と広いグラウンドを持つ「幼保連携型認定こども園南山ルンビニー園」、手厚い介護で人気が高い高齢者施設「南山の郷」と「みなみやま」、これらが同一の敷地内にある強みを活かし、愛知育児院の特色をアピールしていきます。

2. 主な課題

愛知育児院の最大の特徴である施設間交流（世代間交流）は、新型コロナウイルスの感染防止のため一部の活動が令和6年度現在でも制限されています。令和7年度は感染状況を注視したうえで、さらにもう一步コロナ以前に戻せるよう努めていきます。

経営組織のガバナンス（組織統括）強化、職員のコンプライアンス（法令遵守）は引き続きの課題として取り組んでいきます。

愛知育児院の出来る範囲で、地域の福祉ニーズに応えられるように努めていきます。

3. 主な方策

理事長や各施設長が参加し、毎月1回開かれている法人運営会議により、法人の方針を徹底し、各施設が抱えている問題を共通の課題として話し合います。

職員に対しての日常的なモットーとして、「目配り・気配り・心配り」がさらに浸透していくよう配慮していきます。

令和7年度より、なごやよりどころ相談事業に協力し、地域のよりどころ相談窓口として法人全体で取り組み、福祉を通じた地域貢献を行っていきます。それ以外にも現状以外で地域の福祉ニーズに応えられることはないか、法人及び各施設で検討していきます。

4. 主な行事、会議など

正規職員採用、職場人事辞令発布式・・・4月

監事内部監査・・・5月

理事会開催・・・業務の執行状況により随時開催（目安として3ヶ月に1回程度）

評議員会開催・・・6月、3月は定時評議員会

苦情解決委員会・・・年2回程度

ふれあいまつり・・・10月（未定）

いのちの集い（盂蘭盆会）・・・8月

感謝の集い（報恩講）・・・12月

真宗大谷派名古屋教区第30組法話・・・毎月1回（未定）

真宗大谷派名古屋別院巡回法話・・・毎月1回（未定）

真宗大谷派名古屋別院「心の相談室」相談員による傾聴活動・・・毎月1回（未定）